

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成30年6月14日 (2018.6.14)

【公表番号】特表2016-517326(P2016-517326A)  
 【公表日】平成28年6月16日 (2016.6.16)  
 【年通号数】公開・登録公報2016-036  
 【出願番号】特願2016-502701(P2016-502701)  
 【国際特許分類】

A 6 1 G 13/12 (2006.01)

A 6 1 B 1/24 (2006.01)

A 6 1 C 17/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 G 13/12 B

A 6 1 B 1/24

A 6 1 C 17/10

【誤訳訂正書】  
 【提出日】平成30年5月7日 (2018.5.7)  
 【誤訳訂正 1】  
 【訂正対象書類名】特許請求の範囲  
 【訂正対象項目名】請求項 1 2  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【請求項 1 2】

請求項 1 1 の頬用リトラクション装置であって、前記前方バンパーは、前記フレームに比べて異なる材料を含み、前記バンパーは、より柔らかい、可撓性の、および / または、エラストマーの材料を含むことを特徴とする頬用リトラクション装置。

【誤訳訂正 2】  
 【訂正対象書類名】明細書  
 【訂正対象項目名】0 0 4 0  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【0 0 4 0】

装置 1 0 0 と同様に、フレーム 2 0 2 上に、一つ以上のバンパー 2 3 8 または拡大された部分が、設けられ得る。一実施形態において、そのようなバンパー 2 3 8 は、隣接するフレーム 2 0 2 とは異なる材料を含み得、例えば、フレーム 2 0 2 に対してオーバーモールドされた、より柔らかい、可撓性の、および / または、エラストマーの材料を含む。例えば、バンパー 2 3 8 は、0 から約 5 0、0 ~ 約 2 5、または、約 1 5 のデュロメータを有し得る。舌ガード 2 3 4 は、同様に、フレーム 2 0 2 とは異なる材料で形成され得、バンパー 2 3 8 より硬い、デュロメータ特性を有し得る。例えば、舌ガード 2 3 4 は、約 5 0 ~ 約 1 0 0、約 5 0 ~ 約 9 0、または、約 6 0 ~ 約 8 0 のデュロメータ硬さを有し得る。舌ガードは、可撓性および / またはエラストマーの材料を含み得る。